

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月31日
東

上場会社名 幼児活動研究会株式会社
コード番号 2152
代表者 (役職名)代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年1月31日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所
URL <https://www.youji.co.jp>

(氏名)山下 孝一
(氏名)川田 伸 (TEL) 03-6685-0733
配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,119	△0.5	956	△12.4	991	△11.8	699	△11.2
2023年3月期第3四半期	5,145	1.8	1,092	3.3	1,123	△0.0	787	1.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	64.72	—
2023年3月期第3四半期	72.91	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	12,272	9,336	76.1
2023年3月期	12,095	8,752	72.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,336百万円 2023年3月期 8,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	4.1	1,470	1.2	1,510	1.2	1,050	△2.8	97.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	11,784,000株	2023年3月期	11,784,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	981,412株	2023年3月期	981,412株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	10,802,588株	2023年3月期3Q	10,802,588株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第3四半期累計期間	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の緩和により経済活動が正常化に向かい、企業活動や個人消費の持ち直し、インバウンド需要の回復が見られました。一方で、ロシア・ウクライナ戦争の長期化、原材料価格の上昇、供給面での制約、円安・ドル高等、先行き不透明な状況が続いております。

このような中で当社では、入園前の子ども達の未就園児教室の開講により課外クラブ入会者数も増え、イベント企画業務にも力を入れてきました。しかしながら、課外売上は前年同四半期を上回ることができませんでした。

今後も入会していただけるお客様に満足していただけるような指導・サービスの向上に努めてまいります。

このような事業環境を背景に、当第3四半期累計期間における売上高は、5,119百万円（前年同四半期比0.5%減）、経常利益991百万円（前年同四半期比11.8%減）、四半期純利益699百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

当第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は64円72銭となりました。前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は72円91銭、前事業年度における1株当たり当期純利益は99円95銭でした。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 幼児体育指導関連事業

正課体育指導の実施会場数は前事業年度末の1,235園から17園増加し、当第3四半期会計期間末は1,252園となりました。

また当第3四半期会計期間末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、1,279カ所66,928名となりました。前事業年度末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、1,269カ所70,122名でした。

幼児体育指導関連事業におきましては、正課契約件数は増加傾向にあり、正課売上は前年同四半期を上回ることができました。イベント企画業務も好調で新型コロナウイルスが蔓延する以前の状況を取り戻しつつあります。一方で、課外体育指導会場数は増加傾向にある中、課外クラブ会員数は伸び悩み、課外売上は前年同四半期を上回ることができませんでした。

その結果、幼児体育指導関連事業に係る売上高は4,911百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益は928百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

② コンサルティング関連事業

コンサルティング契約件数は、前事業年度末の234件から、当第3四半期会計期間末は220件となりました。

お客様の発展のために、園の総合的なサポートを視野に入れた提案によりGOLD会員へ入会していただき、個別研修を実施してきましたが、コンサルティング契約件数を獲得するまでには至りませんでした。

その結果、コンサルティング関連事業に係る売上高は207百万円（前年同四半期比9.8%減）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期比68.0%減）となりました。

(参考) 体育指導実施会場数及び会員数の動向

	2023年3月期 第3四半期	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	2024年3月期 第3四半期	増減率(%)	
	(2022年12月末日)	(2023年3月末日)	(2023年9月末日)	(2023年12月末日)	(注) 1	(注) 2
幼児体育指導関連事業						
正課体育指導会場数	1,234	1,235	1,250	1,252	1.5	1.4
課外体育指導会場数	1,268	1,269	1,278	1,279	0.9	0.8
課外体育指導会員数(人)	69,539	70,122	65,786	66,928	△3.8	△4.6
コンサルティング関連事業						
コンサルティング契約件数	233	234	216	220	△5.6	△6.0

(注) 1. 2024年3月期第3四半期(2023年12月末日)の2023年3月期第3四半期(2022年12月末日)に対する増減率です。

2. 2024年3月期第3四半期(2023年12月末日)の2023年3月期(2023年3月末日)に対する増減率です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産残高は12,272百万円となっており、前事業年度末に対して177百万円の増加となりました。

流動資産については、前事業年度末に対して89百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が95百万円、売掛金が16百万円増加する一方、未収入金が29百万円減少したためです。

固定資産については、前事業年度末に対して87百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価により177百万円増加し、繰延税金資産が78百万円減少したためです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債残高は2,935百万円となっており、前事業年度末に対して407百万円の減少となりました。

流動負債については、前事業年度末に対して462百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が321百万円、賞与引当金が109百万円減少したためです。

固定負債については、前事業年度末に対して55百万円の増加となりました。これは主に、退職給付引当金が54百万円増加したためです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産残高は、9,336百万円となっており、前事業年度末に対して584百万円の増加となりました。増加の要因は、利益剰余金が461百万円、その他有価証券評価差額金が123百万円増加したためです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前第3四半期累計期間末より593百万円増加し、8,414百万円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは、290百万円の収入となりました(前年同四半期は508百万円の収入)。これは営業利益956百万円、税金等の支出565百万円等に因るものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動の結果得られたキャッシュ・フローは、42百万円の収入となりました(前年同四半期は35百万円の支出)。これは、事業譲渡による収入87百万円、業務系のシステム投資42百万円等に因るものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは、237百万円の支出となりました(前年同四半期は205百万円の支出)。これは、配当金の支払による支出237百万円に因るものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想については、以下に示すとおりです。2023年5月10日に公表した数値と変更はありません。

2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	7,200	1,470	1,510	1,050	97 20
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	6,917	1,453	1,491	1,079	99 95

なお、上記の業績予想については、当社が当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,319,330	8,414,797
売掛金	222,450	238,944
商品	1,587	2,374
貯蔵品	3,815	3,582
その他	184,841	161,975
貸倒引当金	△322	△589
流動資産合計	8,731,703	8,821,084
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	52,712	51,519
構築物（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	29,835	20,471
土地	236,558	236,558
有形固定資産合計	319,106	308,549
無形固定資産		
投資その他の資産	109,742	110,316
投資有価証券	1,945,453	2,122,874
繰延税金資産	576,311	498,302
保険積立金	266,792	266,792
投資不動産（純額）	82,100	82,100
その他	64,069	62,568
投資その他の資産合計	2,934,727	3,032,638
固定資産合計	3,363,576	3,451,504
資産合計	12,095,279	12,272,589

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,823	95,637
未払金	177,271	104,441
未払費用	52,600	34,148
未払法人税等	343,895	22,797
前受金	104,213	161,611
賞与引当金	236,334	126,439
その他	157,447	144,661
流動負債合計	1,152,587	689,736
固定負債		
退職給付引当金	1,930,976	1,985,075
長期末払金	259,343	260,799
固定負債合計	2,190,320	2,245,874
負債合計	3,342,908	2,935,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	513,360	513,360
資本剰余金		
資本準備金	365,277	365,277
資本剰余金合計	365,277	365,277
利益剰余金		
利益準備金	15,666	15,666
その他利益剰余金	8,493,882	8,955,393
利益剰余金合計	8,509,548	8,971,059
自己株式	△907,057	△907,057
株主資本合計	8,481,128	8,942,639
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	271,243	394,338
評価・換算差額等合計	271,243	394,338
純資産合計	8,752,371	9,336,977
負債純資産合計	12,095,279	12,272,589

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	5,145,954	5,119,128
売上原価	3,255,425	3,334,650
売上総利益	1,890,529	1,784,478
販売費及び一般管理費	798,132	827,569
営業利益	1,092,396	956,909
営業外収益		
受取利息	1,248	1,254
受取配当金	12,696	13,673
受取手数料	14,645	17,059
補助金収入	746	1,005
その他	2,169	2,011
営業外収益合計	31,505	35,004
営業外費用		
その他	691	722
営業外費用合計	691	722
経常利益	1,123,210	991,190
税引前四半期純利益	1,123,210	991,190
法人税、住民税及び事業税	331,039	268,340
法人税等調整額	4,532	23,682
法人税等合計	335,571	292,022
四半期純利益	787,638	699,167

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,123,210	991,190
減価償却費	41,393	43,003
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△59	267
受取利息及び受取配当金	△13,944	△14,928
売上債権の増減額(△は増加)	△14,015	△16,493
商品の増減額(△は増加)	207	△787
貯蔵品の増減額(△は増加)	6,054	232
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,301	△64,803
仕入債務の増減額(△は減少)	21,981	14,813
賞与引当金の増減額(△は減少)	△74,594	△109,895
退職給付引当金の増減額(△は減少)	65,474	54,098
前受金の増減額(△は減少)	△9,427	57,397
未払金の増減額(△は減少)	△46,256	△60,519
未払消費税等の増減額(△は減少)	△66,107	△23,443
長期未払金の増減額(△は減少)	—	1,456
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△29,397	△31,669
その他	1,699	1,411
小計	996,916	841,332
利息及び配当金の受取額	13,944	14,928
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△502,158	△565,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,703	290,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,498	△2,881
無形固定資産の取得による支出	△26,113	△42,797
事業譲渡による収入	—	87,670
その他	△845	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,456	42,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△205,043	△237,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,043	△237,257
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	268,202	95,467
現金及び現金同等物の期首残高	7,553,046	8,319,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,821,248	8,414,797

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	4,916,265	229,688	5,145,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,916,265	229,688	5,145,954
セグメント利益	1,004,201	88,194	1,092,396

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	4,911,890	207,238	5,119,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,911,890	207,238	5,119,128
セグメント利益	928,687	28,221	956,909

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計		
正課体育指導業務売上高	710,244	—	710,244	—	710,244
課外体育指導業務売上高	4,057,809	—	4,057,809	—	4,057,809
イベント企画業務売上高	40,912	—	40,912	—	40,912
その他業務売上高	107,298	—	107,298	—	107,298
コンサルティング業務売上高	—	229,688	229,688	—	229,688
顧客との契約から生じる収益	4,916,265	229,688	5,145,954	—	5,145,954
外部顧客への売上高	4,916,265	229,688	5,145,954	—	5,145,954

当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計		
正課体育指導業務売上高	790,423	—	790,423	—	790,423
課外体育指導業務売上高	3,923,403	—	3,923,403	—	3,923,403
イベント企画業務売上高	138,729	—	138,729	—	138,729
その他業務売上高	59,333	—	59,333	—	59,333
コンサルティング業務売上高	—	207,238	207,238	—	207,238
顧客との契約から生じる収益	4,911,890	207,238	5,119,128	—	5,119,128
外部顧客への売上高	4,911,890	207,238	5,119,128	—	5,119,128

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。